



世界ジオパーク認定を目指して!! ①

火砕流、土石流。そしてこれから。

火砕流とは、高温で固体のマグマの破片と、高温で気体のガスが一体となって、高速で流れる現象を指します。火砕流の発生は、溶岩ドームの一部が崩落することによって、火砕流が発生しました。人の居住地域に近い場所でのようなタイプの火砕流は、例がなく、たいへん珍しい現象です。

火砕流とは？

噴火を乗り越え、復興に成功した貴重な教訓や経験を未来に伝えていくために、平成噴火で起きた火砕流や土石流とは何なのかを振り返ってみましょう。

湿润・温暖な日本には、春夏秋冬という明瞭な四季がありません。春と夏を分けるのが梅雨で、九州地方は6月の初旬が平均的な入梅の時期です。

ちよつど入梅にあたる18年前の1991年6月、島原半島地域は普賢岳の噴火による火砕流や土石流によって大きな災害に見舞われました。しかし、時が経つにつれて噴火の記憶は薄らぎ、若い人の中には噴火を知らない人も増えていきます。

土石流とは？

土石流とは、山腹または山麓に堆積している土砂が水と混ざり、下流に流れ下る現象で、ラハールと呼ばれることもあります。平成噴火では、溶岩ドームの出現後、数年間にわたり、大雨のたびに土石流が発生し、当時の島原鉄道や国道などが何度となく寸断されました。また1992年8月8日には、台風に伴う大雨時に発生した火砕流が、大量の雨水と混ざって高温の土石流となり、水無川を駆け抜けて有明海まで直接達したこともありました。



大雨のたびに流れる土石流が、すべてを流しつくしました。

火砕流や土石流を体験？

噴火が治まった今、火砕流や土石流がどういふものであるかを、身をもって体験することはできません。しかし島原半島内には、「雲仙岳災害記念館」旧

大野木場小学校とそこに隣接する「大野木場砂防みらい館」、土石流被災家屋保存公園など、雲仙火山や平成噴火の様子を生々しく伝える遺構や施設が数多く整備されています。これらの施設は、平成噴火の実態を知るための重要なジオサイトの一つです。ご家族で来訪してみたいかがでしょうか。

これからの季節に向けて

これからは、梅雨の時期となります。

普賢岳の斜面には、また平成噴火によって噴出した土砂が大量に堆積しているため、大雨時には土石流や泥流の発生が懸念されます。

現在は、水無川や中尾川など、土石流の発生が予想される河川には高架橋がかけられ、また砂防ダムや導流堤も整備されているため、かつてのように土石流によって道路が寸断されることはまずないでしょう。しかし、土石流が恐ろしい自然現象であることに変わりはありません。特に、梅雨明け直前の7月初旬から中旬は、大雨が長い時間降り続くことが多く、注意が必要です。大雨や台風時には、河川に近づかないようにしましょう。

6月1日(月)から6月7日(日)は水道週間です
統一標語「おいしいねこの水未来にいつまでも」
水道部 上水道課 ☎050(3381)5070

今年も、6月1日から6月7日までの1週間、全国一斉に第51回水道週間が実施されます。今や水道は、私たちの健康で文化的な日常生活や社会経済活動を支える必要不可欠な生活基盤施設として、重要な役割を果たしています。市では、水道について、皆さんの理解と関心を深め、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図ることを目的に、水道週間の行事を行います。

水道の新設など

メーター器から屋内側の給水装置(給水装置)は、給水管およびこれに直結する給水用具をいいます。各水道使用者の財産ですので、その管理(修繕など)は、各自で行う必要があります。

給水装置の新設、改造、修繕、撤去などの工事をするときは、事前に市へ届け出る必要があります。また、市の指定給水装置工事業者以外による

工事は禁止されています。あらかじめご相談ください。

水道相談所の開設

水道に関する相談所を、水道部上水道課と各支所で開設します。お気軽にご相談ください。

6月1日(月)～12日(金) (土日を除く)
午前9時～午後5時
水道部上水道課(南有馬庁舎) または各支所

市では、皆さんが水を安心して利用できるよう努めています。節水に努め、水を大切に使いましょう。

※お願い

メーターボックスの近くに犬をつないだり障害物をおいたり、ボックス内に付属品を付けたりしないでください。また、ボックス内の清掃にもご協力ください。

パッキンの無料配布

蛇口からの水漏れはパッキン(節水コマ)の取り替えて直ります。各支所で無料で配布しています。※数に限りがありますので、お早めどうぞ。

ふるさと 南島原市の文化財 Vol.18

権現脇遺跡(深江町大野木場)

*現在は砂防工事のため立ち入ることはできません。



掘りだされたばかりの打製石斧
MINAMISHIMABARA

深江町水無川上流の右岸に位置する権現脇遺跡の発掘は、調査と水無川流域の砂防工事に併せ、平成14年度から行われて来ました。今回は、昨年12月から今年3月までに行われた発掘調査を報告します。今回の発掘調査で出土した遺物は、およそ6,500点。縄文時代晩期(今からおよそ3千年前)の遺物が主体を占めています。土掘りに使う打製石斧、木の実などをすりつぶす磨石、ものを切るスクレイパーなどの石器や、煮炊きなどに使う土器の破片などが発見されました。権現脇遺跡からの出土資料は、縄文時代と弥生時代の転換の時期にあたり、「時代の節目の遺跡」として、高い評価を受けています。



ちよつと出掛け

深江埋蔵文化財・噴火災害資料館
権現脇遺跡などの遺跡から出土した土器・石器約500点や雲仙普賢岳の平成噴火や災害に係る写真パネル等を展示しています。
●場所 深江町大野木場、砂防みらい館・旧大野木場小学校被災校舎前

また、権現脇遺跡では普賢岳の平成噴火の際に火山灰で埋没したタバコ畑の畝や、眉山噴火(今から4千数百年前)の際に火砕流の熱風で倒れた木の跡など、火山活動に伴う遺構も検出されました。火山活動に伴う直接的な遺構が検出されることは非常にまれであり、ほかの多くの遺跡と大きく違うところ。人類活動と火山活動が交差する「雲仙山麓」ならではの特徴と言えます。

南島原市では、島原市、雲仙市とともに「島原半島ジオパーク」の世界ジオパークへの登録を目指していますが、その構成資産として権現脇遺跡の今後の活用にも期待が高まります。

陳さんの中国の言葉で「笑門来福」

毎月、国際交流員の陳凌凌さんが中国の言葉を紹介!!
今月の言葉 「笑門来福」

中国には、「笑門来福(チャー・メン・ライ・フ)」という言葉があります。日本では「笑う門には福来たる」というそうですね。南島原市に来てからこれまで、このまちの皆さんはいつも笑顔がいっぱい、まるで初夏に吹くやわらかい風のように。「笑いは世界の共通語。だからこそ、言葉が通じないときも、笑顔を絶やさなければ、きっと気持ちは伝わるんだよ」という日本語の先生の言葉がやっと理解できた気がします。

私も南島原市の新しい一員として、皆さんの友達になれるよう、笑顔でがんばります。皆さん初めまして。そして、よろしくお願いします!

「陳さんの中国文化講座」参加者募集

ト/7月1日から全6回 毎週水曜日 午後7時30分～9時

ハ/原城オアシスセンター

料/無料 定/20人程度

申 問/企画振興部企画振興課 ☎050(3381)5030



時間に余ゆうがあってたくさん遊べる。
テーマ「雨の日の楽しみは…」 南島原市立 口津 小学校 6年 名前 島居 栞矢

自分の興味のある本をひたすら読む
テーマ「雨の日の楽しみは…」 南島原市立 口津 小学校 6年 名前 田中 健太郎

